



月潟中学校 学校だより

翔舞

R7 第11号

令和7年10月10日
発行
新潟市立月潟中学校

新潟市南区月潟740
☎: 375-2106

HALF TIME

～ 前期終業式 ～

早いもので令和7年度も折り返しを迎えました。前期授業日数は106。「1」と「106」とで、自分はどう変化したと感じているのでしょうか。「わかる・できる」が増えた、貴重な経験を積んだ、良いことは変わらず続けられたなど、ポジティブな感覚が湧いているのでしょうか？みんなそれぞれにきっとあるはずです。見つけられましたか？人の成長のために大切なのは「自覚する」ことではないのでしょうか。まだの人は、じっくり振り返ってみましょう。終業式での各学年代表生徒のお話を紹介します。

「中学生になって学んだこと、心に残ったこと」 IA ○○ ○○ さん



私は、今年の春に中学生になり、期待と不安でいっぱいでした。初めの頃はなかなか生活に馴染めず、中学校生活に戸惑うばかりでした。そのような中、私が前期を通して学んだことや心に残ったことを紹介します。

まず始めに、中学生になって学んだことです。それは、1年生にとっては衝撃的だった定期テストについてです。最初はどのように勉強したらいいのかわからず、インターネットの動画検索で見つけたやり方を自分で試してみるなど、試行錯誤しました。初めてのテストが返されると、自分が納得できる点数が多かったものの、やっぱり苦手教科は点数が伸びませんでした。「せっかくこれまで対策してきたのに…」と、自分の順位を確認していて悔しさが込み上げてきました。そのため、勉強方法を見直したり、勉強する時間帯や場所を工夫したりして、今年の夏休みは頑張りました。特に、苦手教科は何回もワークに取り組むなど、自分で考えて勉強をしました。その甲斐があり、期末テストでは苦手教科の点数が中間テストから10点もアップしました。この出来事から、努力は必ず報われるということを実感を伴って学びました。

次に心に残ったことです。体育祭で、私は黄軍になりました。最終的には負けてしまったけれど、特に月中リレーではみんな燃えていてとても良い戦いだったと思いました。私は走っている時、久しぶりに気持ちのいい感覚になりました。最後まで諦めずに黄軍のみんなで応援できたし、競技にも取り組みました。そして、夏休み前から団旗係の仕事にも取り組み、自分の役割を果たすことができて最高でした。

この2つが学んだこと、心に残ったことです。前期だけでも、小学校にはないいろいろな経験ができました。後期にもテストがあるので、引き続き目標を決め、勉強と息抜きのバランスを取れるように意識して、絶対に自分の目標点を取れるように頑張りたいです。

「前期の振り返りと後期の抱負」 2A □□ □□ さん

僕は、前期の学習について、上手かった点と改善点があります。まず、上手かった点は、家庭学習を今までよりも頑張ったことです。特に力を入れた数学と社会では、定期テストの点数が1年生の時よりも上がりました。しかし、それに対して他の3教科は目標点に届きませんでした。数学と社会に比べて、取り組む量が足りなかったからだと考えています。

そこで、僕が後期に頑張りたいのは、数学と社会の取組を維持しつつ、他の3教科にもバランスよく取り組んでいくことです。これを実現するためには、時間の使い方を工夫しなければなりません。そこで、テスト計画表を有効活用して計画的な取組をしたいと思います。

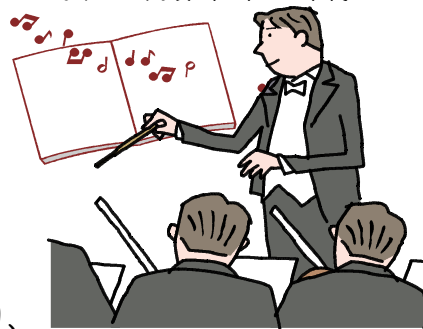
また学習だけでなく、月輝祭の合唱などにも一生懸命取り組みたいです。中学校生活も今日で半分が終わるので、一つ一つの行事を大切にしたいです。

2年生後期は、3年生になる準備期間だと思います。後期は前期よりも、学習にも行事にも自分から進んで、そして、全力で取り組んでいこうと思います。



「前期に頑張ったことと後期に向けて」 3A △△ △△ さん

私が前期に頑張ったことは、大きく2つあります。1つ目は部活動です。私は吹奏楽部に所属していました。部活動では、長年の夢であった吹奏楽コンクール金賞に向けて、日々の練習に精一杯取り組みました。コンクール曲にはテンポが速い部分があり、そこを演奏する時に指が回らず、とても苦戦しました。練習する時のテンポを、ゆっくりから始めてだんだん速くしていくことで、少しずつ指が回るようになりました。コンクールの結果は銀賞だったけれど、悔いの残らない演奏ができました。吹奏楽部では、粘り強く取り組む精神を得ることができました。



2つ目は体育祭です。私は黄軍の団旗長として活動していました。計画していたイメージの色と実際に塗っている色とが合わなかったり、夏休み中の活動にメンバー全員が集まらない日が多くて順調に作業が進まなかったりと、なかなか苦戦しました。でも、団旗係のみんなと協力し、諦めずに取り組みました。その結果、団旗の部で優勝することができました。苦労があったからこそ、喜びも大きかったです。また、相手軍も正々堂々勝負してくれて、競い合えたからこそ、お互いに素敵な作品に仕上がったのだと思います。この経験から、私は団旗長というリーダーとしての責任感と、最後までやり遂げることの大切さを学びました。

これらの経験から得たことを、日頃の学習や生活に生かしていきたいと思っています。後期は、私たち3年生にとって最後の学期となります。体育祭に続き、月輝祭もみんなと力を合わせて最高の行事にしたいですし、後輩たちにも月中のよい伝統を残して卒業したいです。

3名とも、自分の「今まで」と「今」をきちんと捉えて「これから」を考えていて素晴らしいですね。一人ひとり紹介はできませんが、他の生徒のみなさんもきっと同じように、これからの自分について考えていることと思います。今、胸にあるそれを大切にしていきましょう。

後期は週明けすぐに始まるわけですが、今日を1つの大きな節目として、またみんなで力を合わせて進んでいしましょう。

POWER炸裂!! NEW GENERATION

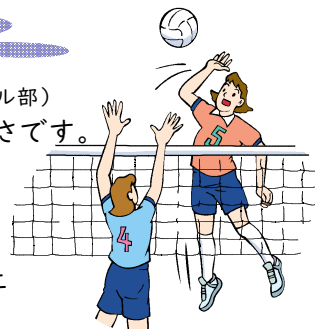
新潟市中学校新人大会
9月29日・30日開催

バレーボール部、陸上競技部の生徒たちが活躍してきました！

「新人大会を終えて学んだこと」 2A ■■ ■■ さん (バレーボール部)

新人大会を終えて学んだことがあります。それは、コミュニケーションの大切さです。

私たちのチームは、ミスをした選手に声かけをしたり、励ましたりすることがあまりできていませんでした。強いチームや私たちが負けてしまった相手は、ミスをした選手にコート内からもベンチからも声かけをして、自分たちでいい雰囲気を作っていました。声かけ以外にも、コミュニケーションによってミス防止やセッターとの連携をすることができます。



私はこの大会を通して、改めてコミュニケーションの重要性や自分のチームの課題を見つけることができました。この大会を通して学んだことを、次の大会に生かせるように頑張りたいです。

【大会結果】リーグ2位

(○vs鳥屋野、○vs白根第一、○vs坂井輪、○vs新潟第一、○vs小針、●vs寄居)

「新人大会を終えて」 2A ◇◇ ◇◇ さん (陸上競技部)

大会を終えて感じたことがたくさんありました。自分よりすごい人がたくさんいました。その人の動きを見て、たくさんを学びました。自分は走幅跳で全然跳ぶことができず、物凄く悔しい気持ちでいっぱいです。他の選手はフォームもきれいで、強く踏み切っていてすごいと思いました。しかも、1年生なのに自分よりも跳んでいて、物凄く練習したんだろうなと感じさせられました。これからは大会も少ないと思いますし、練習時間も少なくなってしまうので、その分きちんと練習に取り組み、自分よりもうまい人に教えてもらい、しっかりと意味がある練習ができたらいいなと思っています。そして、自分が目標にしている5m25cmを跳べるように頑張りたいと思います。



【大会結果 (入賞)】2年男子110mH優勝：◆◆ ◆◆ さん、共通男子走幅跳8位：◇◇ ◇◇ さん